

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.33

発行日 1999年8月31日
 発行者 NICE沼津国際交流協会
 (企画広報部会)
 所在地 沼津市御幸町16番1号
 (事務局) 沼津市役所市民生活課国際交流室内
 ☎0559-34-2529

Mayor is leading contingent to Japanese sister city

Jones will be first Kalamazoo mayor to visit Numazu since 1993.

BY MICKEY CIOKAJLO
KALAMAZOO GAZETTE

Kalamazoo's sister-city relationship stretches back 36 years.

But Mayor Robert B. Jones wants to remind his friends in Numazu, Japan, who their Michigan friends are.

The mayor will be toting Kalamazoo history books, hats, T-shirts, even plastic kazoo's, as he leads a contingent of 21 local residents to the Japanese coastal city next week. Stacks of grab-bag gifts bearing the Kalamazoo name were piled high in the City Hall office where Jones spends several hours each day conducting business.

"It's important for the city to reach out internationally," said Jones, noting today's high-tech and ever-shrinking world.

Jones is the first Kalamazoo mayor to make the biennial visit to Numazu since Beverly Moore in 1993. Kalamazoo residents visit Numazu in odd-numbered years while the Japanese city sends a group here in even years.

Organized by the Kalamazoo-Numazu Sister City Committee, the local contingent leaves Monday and will re-

turn July 28. City money is not being used to fund the trip, which will include the mayor's wife and her two sons, the mayor said.

The sister-city relationship, started in 1963, has grown over the years to include student and teacher exchanges in addition to the annual trips each way.

Numazu, a city of 211,000 people, is located about 85 miles southwest of Tokyo on the Suruga Bay of Japan's east coast. The city sits at the base of Japan's famous Mount Fuji.

Marcia Smith, vice president of the sister-city committee, first visited Numazu in 1993 when, along with Moore, Kalamazoo sent its 56-member Kalamazoo Children's Chorus.



Sister City

Numazu facts:
Population: 211,315
Location: mouth of Kano River facing Suruga Bay, southwest of Tokyo.
Products: machinery, photographic film, chemicals, metal and textiles.
Sister city: established with Kalamazoo in 1963, the cities take turns each year sending a delegation.

SOURCE: Encyclopedia Britannica, 1997

GAZETTE

zoo Children's Chorus.

"We were very impressed by how warm they are," said Smith, who is returning this year with her husband, Tom. "They made us feel very welcome. It's a wonderful country."

About her return trip, Smith says jokingly, "I keep telling people I'm a dignitary."

The relationship has deep roots, literally, in Kalamazoo. The lone surviving tree from last year's construction on the downtown Kalamazoo Mall was a gift 20 years ago from Numazu visitors.

Although the relationship is between Kalamazoo and Numazu, many members of the local group actually live in Portage.

"I just think of Kalamazoo as a whole area," said Smith who, along with her husband, grew up here.

A highlight of the trip will be Numazu's annual summer festival, capped by a major fireworks display on July 24, said Barbara Blissett, the committee's secretary.

"They are very proud (of the festival)
(カラマズー・ガゼット紙より)

『カラマズー市長一行来沼!』

来年はカラマズーで!!

カラマズー市民訪問団をお迎えして

姉妹都市カラマズーより市民訪問団が7月20日より28日まで沼津に滞在されました。それに先だって2名の交換留学生が7月13日より同じく28日まで滞在しました。カラマズーは北海道と同じ位の緯度ですから、日本の蒸し暑さには慣れていなく、暑さがだいぶこたえたようでした。が、みなさん、それぞれのファミリーを大変気に入ってくれ、またファミリーからも歓迎されて喜んでお帰りになりました。市長さん、ホール会長さん、事務局のバーバラさんからお礼のメールが早速送られてきました。



市長表敬

交換留学生の2人のアンは、到着の翌日から、京都、奈良へ2泊3日で行かけました。彼女たちは、来沼前から、これを楽しみにしていたようで、京都の本を読んできていました。金閣寺や清水寺、奈良公園など、市民訪問団が行きたくても行けなかった旅を満喫しました。



奈良公園

21日の歓迎会では、ふれあい部会のみなさんの協力で、アトラクションとして燦々ぬまづ踊りを披露していただきました。はっぴを着て一緒に踊り、楽しそうでした。でも本番のパレー

ドに参加するのは、暑いからと遠慮された方が多かったようです。



歓迎会

市長さんは、ご家族と自費で今回の旅に参加されたのですが、温厚で人なつこくて親しみの持てる方でした。ある朝、大きな体を小さくして、小さな声で“グッドモーニング”と起きてきました。どうしたのだろうと思ったら、障子を破ってしまったとのこと。小林会長や、去年からずっと疑問に思ってた聞いたかったという会員の質問に答えて、おひげの手入れの仕方をこうやって伸ばしてパツとはなすんだよ（カーリーヘアだからうまくクルクルとまとまるのですね）と見せてくれたり、それからオイルをぬり、なかなかお手入れも大変そうでした。

奥さまのキャリアーは、折角日本に来たのだからマッサージや鍼治療を試してみたいと意欲的でした。マッサージ師から、もっと運動しなくてはとか、鍼師からは、もう少し長い針を用意すべきだったと言われてしまいました。（これは、こちらがそこまで気がまわらなかったのですが）

双子の兄弟の一人は、8歳の頃から、日本に来るのが夢で、日本語を勉強していて、来年は、コンピューターアニメ（Japanimation）のために留学を考えているとのこと。このまま帰りたくないママを困らせていました。キャリアーは、しみじみと、日本は歴史がある国でいいねと話しました。今あるアメリカの文化はミックスなのですが、その中には自分たちのアフリカンアメリカンの文化はミックスされていないこと、自分たちの文化は、奴隷船で連れて来られたときからなくしてしまい、ファミリーツリーをたどろうとしてもできないのだと悲しげでした。

特集記事

ホール会長さんも今夏はご家族でいらっしやいました。お兄さんご夫妻、息子さんとガールフレンド、義理の息子さん、もちろん奥さまも。ご夫妻は長い間、沼津からカラマズーを訪れる留学生や、交換教師、市民…と本当に親身になってよくお世話をしてくださっています。ご家族から、どうしてそんなにまで…といつも言われたり、思われているといつか話していらっしやいましたが、今回の旅で、沼津との関係を家族も理解してくれたのではないかと期待していました。リタイアしたくてもなかなか良い人が見つからないとこぼしてもいらっしやいました。こちらからすれば、ホールさんがずっと会長さんでいらしたら、どんなに心強いことでしょう。

6年前、チルドレンズコーラスと一緒に来沼されたマーシャは、今回はご主人と一緒に、ベティも事務局のバーバラも2回目、交換留学生の矢部都子さんを1年間お世話下さったシュランサーさんご夫妻、市庁舎で働くクリスチーナと総勢21名をお迎えしました。

今回はいつもより少しだけ長い滞在になりますので、リピーターのかたにもお楽しみいただけるように、あまりホストファミリーのかたに負担をかけないようにと、プランしました。

市長表敬では、いわゆるお土産のほかに、フェアに備えて、カラマズーがよくわかる物産をお持ちいただきました。こちらへ旅行される前の週にカラマズーガゼットに載った記事を見せいただきましたが、それには、沼津がかなり大きく紹介され、1993年に沼津市制70周年と姉妹都市提携30周年を祝うためにベバリー・ムーア市長が訪問されて以来だとか、訪問の目的もかなり詳細に記されていました。

(表紙の写真の新聞記事がその一部です)



陶芸教室

陶芸教室では、絵付けをしたり、実際に粘土

から好きな形に仕上げたりしました。できあがった作品は後で送りますよという、焼くときにこわれてしまったらどうなるのだろうと質問がでました。そしたら、先生が、ご自分の作品をさしあげますよとおっしゃり、それでは今からこわそうかとにぎやかでした。

翌日は、午前中、大瀬岬で泳いだりしてから、市民の森でバーベキューをしました。近くのコミュニティの協力で、神楽を見たり、小麦饅頭やハウスみかんをふるまっていたいただきましたが、なにせ、炎天下でのこと、そのときは楽しくても、あとが大変。ホールさんもキャリーも疲れと暑さで夕食が食べられなくなってしまいました。少し強行軍だったみたいです。



市民の森で

次は御用邸を訪問。ヨーロッパの王室とは違い、簡素な日本の美しさに印象深かったようです。東附属邸でのお茶席は、ゆっくりと一服、ひととき優雅な気分を味わいました。

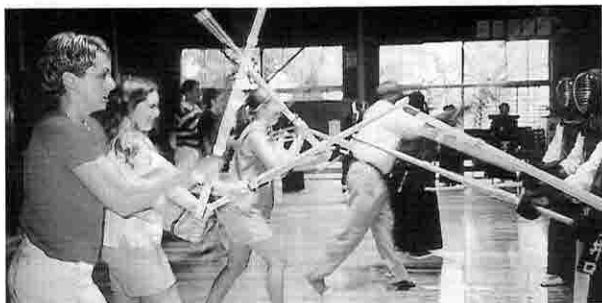
24日は沼津夏祭りです。花火大会まではフリータイム、ホストファミリーと楽しく過ごしました。花火に歓声をあげながら、どんな風に過ごしたか話したりと、それぞれ報告に忙しかったようです。最後のナイアガラには、いつもながら、息をのんでいました。

今回初めて鎌倉までバス旅行をしました。大仏と八幡宮だけであとはフリータイム、と言っても、そんなに十分ではなく、もっとショッピングしたかったよと言われてしまいました。千年も歴史があることに驚き、大仏の大きさに驚き、異国情緒が快かったのではないのでしょうか。ランチの“いもづくし”は最後においしいアイスクリームで大喜びでした。

昨年カラマズーを訪問した市立高の引率の先生と生徒が、メンバーとして、またホストファミリーとして協力してくださいました。また初

特集記事

めて市立高を訪問し、武道を見学したり体験したりしました。



武 道

そして、歌舞伎。例年と違う時期の公演で、観劇できることになり、みんながラッキーと着いた日のバスの中なかから大騒ぎでした。英語のイヤホンガイドがないので、ストーリーだけは、最初にお読みくださいと渡してありましたので、眼を通してありました。お芝居というよりも、一幅の絵として、様式美をあげたのではないのでしょうか。着物の美しさ、所作の面白さがよかったです。長いから半分眠って半分楽しんだよと報告されました。

いよいよお別れポットラックディナー。会場がちょっと狭かったので、袖がふれあってばかりでしたが、その分、和気あいあいのなかで、お別れを惜しみました。会場の関係で、大勢のかたに参加をお願いできなかつたことが残念でした。斎藤市長さんご夫妻も参加してくださり、ほんとうによい会でした。



ポットラック

スタッフのみなさん、ホストファミリーのみなさん、ほんとうにお疲れさまでした。ご協力ありがとうございました。

国際理解教育部会

国際交流サロン第1回

＜インドのクッキングサロン＞

インドのカレーは辛い??

8月1日(日)、第一地区センターで第1回目の国際交流サロン、クッキングサロンが開催されました。

当日はインド出身の石井シュクリシュナさんが彼女の故郷西インド地方の家庭料理を三品紹介して下さいました。

インド料理には沢山のスパイスが使われています。

当日作ったキーマカレー（挽肉のカレー）には6種類のスパイスが使われました。

シナモン、クローブ、カルダモン、ターメリック、クミン、唐辛子。

「6種類のスパイスの中で辛いのは唐辛子だけで、あとの5種類のスパイスは辛くありません。唐辛子の量で辛さが決まります。日本人はインドというとカレー、カレーというと辛いもの、と思っているようですが、インド料理はカレーだけではありませんし、また、インドではカレーは辛いものとは限りません。私の娘はカレーは辛いものとは思っていません。スパイスの割合は家庭によって違い、それぞれの家庭にその家の味があります。今日のカレーは私の母の味です」と、シュクリシュナさん。

キーマカレーの他に、ライタ（ヨーグルト風味のインドサラダ）にも卵コロッケにもスパイスが使われ、調理室の中はインドの香りに満たされていました。



ナ、イ、スー、そ〜れっ！

《ふれいあい部会》

7月24日に燦々ぬまづ踊りに参加しました。当日は、来沼していたカラマズー市からの訪問団の方も何人か加わり、暑い暑いなかでの踊りでしたが楽しかったです。



沼津在住3ヶ月のカナダのマギー・スマイルさんとNICEのイベントに初参加の中原さんの体験レポートです。(紙面の都合で割愛させていただきましたが、ご了承ください)

N-I-C-E, Sore! This is what we chanted as we danced down San San Dori on Saturday during the Numazu summer festival. As a foreigner, I feel very fortunate to have met the NICE group and to have become involved in various events and activities.

Having always heard about the Numazu festival, I was even more excited to learn that I could dance in the festival. Of course my question was "is the dance difficult?" Sugihara San answered, "no, there were only four steps!" However, at the first practice I quickly realized these four steps would need to be rehearsed! After about two hours I felt confident in our ability to perform the dance in the parade on Saturday. However, to my surprise, I had the opportunity for one more practice before Saturday at the welcome party for the people of Kalamazoo!

Then came the big day. We had our faces painted by a famous artist here in Numazu, by the name of Hiroyuki Kobayashi. Kobayashi San was also our leader in the parade wearing a charming skirt and attempting to hold the NICE sign against the wind. The dance

went well, (despite the intense heat) some of the people from Kalamazoo joined in. When we finished we changed and enjoyed some food and drinks together. The Asahi was great after a hot day.

I would like to thank the members of NICE for inviting me to take part in the festival and for making me feel so welcome in Numazu. I had a wonderful time and am looking forward to next NICE event!

Sincerely,
Maggie Smile



燦々ぬまづ踊りに参加してみて

大岡 中原 はるみ

7月の市の広報で、沼津国際交流協会の名で「燦々ぬまづ踊りを通して国際交流を深める参加者」を募集していました。私は沼津に越してきたばかりですが、踊りの列には加わらないとしても、練習だけは参加させてもらいたいという気持ちで応募しました。

私は10年前に海外生活の経験があり、「国際交流」の文字を見ると、何となく血が騒ぐとか心惹かれるものがある、関わっていきたい気持ちが湧いてきます。その気持ちと、日頃の運動不足を解消したい気持ちの両方から、文化センターに5日程通い、この新参者の私でも踊りの列に加わることになって、24日当日は、にぎやかに国際的な時を過ごすことができました。

祭りが終わった今、あの楽しかった練習の場面を思い浮かべて、また共に何かを学ぶ機会があればいいなと思います。

国際交流なんでも情報室

第9回日米草の根交流サミット静岡大会

～～沼津分科会～～

「21世紀へ残す自然と伝統文化」

富士山湧水と御用邸、そして環境問題をテーマに米国と沼津市民がお互いの文化や習慣に理解を深め、個人個人の友情を育みます。

なお、分科会は静岡市をはじめとする県内13地域でそれぞれの特徴を出して行われます。

月 日	開催地	主な行事
11月3日(水)	—	米国出発
4日(木)	東京・静岡	来日
5日(金)	静岡	県内視察・開会セレモニー・歓迎レセプション
6日(土)	沼津	御用邸散策・日本文化体験(茶道・華道・琴・書道・着物着付け)・ホームステイ
7日(日)	沼津	柿田川&泉水源地・視察 ホームステイプログラム
8日(月)	沼津 静岡	ゴミ分別回収現場視察(西島町)・クリーンセンター&衛生プラント視察・講義&意見交換会・沼津市街散策 静岡にてフェアエルパーティー
9日(火)	東京	東京での交流プログラム
10日(水)	東京	離日・米国着

2泊3日のイベントに多くの会員の参加・ご協力をお願いします。

ホームステイ家庭募集!!
11/6～11/8 2泊3日

浜辺で国際交流

網引き・バーベキュー・

インターナショナルゲームパーティー参加者募集

日時 平成11年9月26日(日)
午前6:00(網引き開始)～13:00
雨天決行

場所 我入道海岸

(但し雨天の場合ゲームパーティーは我入道
連合自治会館で行います)

駐車場に限りがありますので乗り合いでご来
場下さい。

内容 網引きとバーベキュー。
その後5カ国の外国人に母国のゲーム
を紹介してもらいながら各国のゲーム
を体験。

定員 100名

参加費 大人一人1,000円、
子供(小学校6年まで)一人500円

申し込み 参加費をNICE事務局に持参して下さい。
先着順、定員になり次第締め切り。



お申し込み・お問い合わせ等は
協会事務局
(市役所・市民生活課国際交流室内)
(TEL) 0559-34-2529